

## 誰もが安心して治療を 受けられるように

坂田明美 (埼玉県三郷市在住、ケアマネージャー)

これまでは、一人の患者として歯科医院を受診していました。歯科治療のことも主には自分のこととして、あるいは時に家族の問題として捉えていました。ケアマネジャーの仕事で、介護保険の相談をしていくなかで、歯の健康や歯科治療について、あらためて考えるようになりました。

実際に高齢者の方々の話を聞くと、例えば「内科に行ってから、整形外科へ寄って、そのついでに、眼科と定期的にお薬をもらいに通院する。でもなかなか、歯医者さんへはねえ」という高齢者が多いです。その理由を尋ねてみると、「付き添ってもらわないと通院ができない」、「階段の昇降ができないから、歯医者さんの椅子に座れない」、「車椅子でないと座ってられない」、「歯が少々痛くても入れ歯の具合がかなり悪くても食べやすいものだけを食べるようにして我慢しちゃう」、「やわらかく煮ちゃえば入れ歯なくっても食べられるから」、といったことを話してくれます。そして、みなさん血压には気をつけるけれど、なぜか、健康の入り口が、最後の最後までほっておき状態なのです。その上、一番の問題といえば、

「歯医者さんはお金がかかるからねえ。入れ歯なんてもう作れないし、あと少ししか、生きられないよ」、というような悲しいことばが返ってきます。

介護保険サービスを利用されていれば、担当のケアマネが、訪問歯科につなげることも、できますが、介護保険サービスを利用していない方でも、通院の難しい人や、料金などの不安がある時に、気軽に相談できる窓口があればとつくづく思います。診察中での説明は他の患者さんにも聞こえてしまうし、金額のことなどは、次の患者さんがもう口あけて待っている状態ではかなり聞きづらいものです。インターネットを利用した検索といっても、それを使用できる人ばかりではありません。

また、口腔ケアに対して内科や整形外科の先生にも、その大切さを伝えていただきたいです。血压や、膝ばかりではなく、口の中も毎回みてほしいですね。口腔ケアなんてことばではむずかしいから、大好物・美味しいもの食べて長生きしよう、骨粗鬆症予防にもなるのだから、誰でもがすてきな笑顔になりましょうというような声かけをしてくれたら良いのに思います。そして、入れ歯だからとか、あきらめないで、無くした歯まで生やせとはいってませんが、食べる能力を獲得するために、高齢者にとって身近で、わがままたくさん聞いてくれる歯医者さんがもっと増えてほしいと思います。どうかよろしく願いいたします。